

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地				
国際マルチビジネス専門学校		昭和51年3月31日		野口 和江		〒 980-0021 (住所) 仙台市青葉区中央 4 丁目8番32号 (電話) 022-222-2328				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地				
学校法人東杜学園		昭和38年7月15日		野口 和江		〒 980-0021 (住所) 仙台市青葉区中央 4 丁目8番32号 (電話) 022-222-2328				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度				
商業実務	商業実務専門課程	プライダルビジネス学科 プライダル専攻		平成16(2004)年度	-	平成28(2016)年度				
学科の目的	プライダルの専門知識・スキルの習得に加え、お客様に寄り添い、支えることができる人材の育成を目指す。									
学科の特徴 (取得可能な資格、中退率等)	プライダルコーディネーター技能検定3級、WBJ認定ウェディングプランナー、WBJ認定ドレスコーディネーター、JNAネリスト技能検定、パーソナルカリスト検定、フォーマルスベシヤリスト検定、サービス介助士等									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数 又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技		
2年	昼間	※単位時間、単位いづれかに記入		2,229 単位時間	238 単位時間	833 単位時間	1,158 単位時間	単位時間	単位時間	
				単位	単位	単位	単位	単位	単位	
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数 (生徒実員の内数) (B)		留学生割合(B/A)						
20人	12人	0人		0%						
就職等の状況	■卒業者数 (C)		2人							
	■就職希望者数 (D)		2人							
	■就職者数 (E)		2人							
	■地元就職者数 (F)		0人							
	■就職率 (E/D)		100%							
	■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)		0%							
	■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)		100%							
	■進学者数									
	■その他									
	(令和4年度卒業者にに関する令和4年5月1日時点の情報)									
■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生)				株式会社ひらまつ、株式会社ゼットン						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		無		評価結果を掲載したホームページURL					
当該学科のホームページURL	https://www.mbc.ac.jp									
企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)									
	総授業時数					2,229 単位時間				
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数					165 単位時間				
	うち企業等と連携した演習の授業時数					0 単位時間				
	うち必修授業時数					165 単位時間				
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数					165 単位時間				
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数					0 単位時間				
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)					- 単位時間				
	(B: 単位数による算定)									
	総授業時数					単位				
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数					単位				
	うち企業等と連携した演習の授業時数					単位				
	うち必修授業時数					単位				
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数					単位				
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数					単位				
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)					単位				
教員の属性 (専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であつて、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)						6人			
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)						16人			
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)						0人			
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)						2人			
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)						3人			
	計						27人			
上記①～⑤のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定) の数						27人				

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等と組織的な連携体制を確保し、職業教育を通じて業界に必要とされる職業人育成を目標として教育課程を編成する。知識やスキルを実務に携わる企業の方々の意見を基に科目に加え、また可能な限り既設授業の単元にも取り込みを行う。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

編成委員会は企業関係者の外部委員と本校教職員で構成され、相互意見を十分に活かし、学内編成会議で決定する。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	①
伊藤 彰徳	名鉄観光サービス株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
松本 陽建	株式会社丸三屋	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
板垣 佑子	Across THE Universe	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
加藤 ゆかり	株式会社留学ジャーナル	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
野口 和江	国際マルチビジネス専門学校 校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
熊谷 文志	国際マルチビジネス専門学校 副校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
三橋 英一	国際マルチビジネス専門学校 広報部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
伊五澤 和男	国際マルチビジネス専門学校 教務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
吾妻 祐子	国際マルチビジネス専門学校 教務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
畑谷 紀衣	国際マルチビジネス専門学校 総務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
千葉 雅俊	国際マルチビジネス専門学校 広報部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年2回（8月、9月）

（開催日時（実績））

第1回 令和5年8月29日 14：20～15：10

第2回 令和5年9月13日 13：00～14：00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・コミュニケーション能力、社会人としての基本的な振る舞いは非常に重要。
- ・学生のうちに「知らない大人と接する」機会を持ち、その価値を知る必要がある。
- ・お金をいただき働くことの意味。
- ・基本的な「PCスキル」と「電話対応スキル」。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界において、必要な知識や技術を養うことはもちろんのこと、ゲストの要求にお応えできるよう、演習形式で授業を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業等より講師の派遣を行い、業界ニーズを反映した授業を実施し、その評価を行う。

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ブライダルフラワーアレンジメント	ブーケやブートニア、卓上装花などブライダルシーンを彩る装花のコーディネートを中心に習得する。	株式会社マルイ商事 フローラルメヌエット
ネイルサービス(基礎)	ネイルサービスの基礎を習得する。	Salon de Lilas
特別講座 サービス介助士	正しい介助技術とおもてなしの心を学ぶ。	公益財団法人 日本ケアフィット共育機構

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針	
研修規定を基に、卒業後に就業を目標としている業界が求めるスキルや最新の動向等の知識を経て、学生への指導に活かしていくこととする。また、研修受講により実践的な技術や技能の向上をに努めている。	
(2) 研修等の実績	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： WBJウェディングスビューティフルジャパン研修会(オンライン)	連携企業等： ウェディングスビューティフル協会
期間： 2022(令和4)年8月25日(木)	対象： 教員1名
内容 コンセプトウェディングにおける業界事情、トレンド、今後の動向について受講した。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： WBJウェディングスビューティフルジャパン研修会(オンライン)	連携企業等： ウェディングスビューティフル協会
期間： 2023(令和5)年3月23日(木)	対象： 教員1名
内容 ブライダルジュエリーについて、認定試験の改定内容について受講した。	
(3) 研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： WBJウェディングスビューティフルジャパン研修会(オンライン)	連携企業等： ウェディングスビューティフル協会
期間： 2023(令和5)年8月上旬予定	対象： 教員1名
内容 ブライダル講師の為の研修会を受講予定。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： WBJウェディングスビューティフルジャパン研修会(オンライン)	連携企業等： ウェディングスビューティフル協会
期間： 2024(令和6)年3月中旬予定	対象： 教員1名
内容 ブライダル講師の為の研修会を受講予定。	
研修名： ASTON HOUSE視察	連携企業等： ディービーツアー
期間： 2023(令和5)年11月中旬予定	対象： 教員1名
内容 韓国・ソウル市の婚礼企業ASTONHOUSEの視察、並びに韓国スタイルのウェディングについて講話を受講予定。	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価の基本は自己評価である。学校自らが行った自己評価が学校関係者の方々からご理解を頂けるよう、評価の客観性を高めたい。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	学校運営
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	教育活動・教育環境
(6) 教育環境	学生支援
(7) 学生の受入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	留学生の募集と受け入れ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・価値観の多様化が進んだことで、社会が許容する考え方や行動の範囲が広がった。いかに相互理解を深め、共に働いていくか。
- ・卒業生への支援体制構築

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界団体
伊藤 彰徳	名鉄観光サービス株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
板垣 佑子	Across THE Universe	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
加藤 ゆかり	株式会社留学ジャーナル	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.mbc.ac.jp>

公表時期: 2023(令和5)年9月29日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校教育法第133条、第14条第2項において準用する第42条及び同法施行規則第189条、第190条において準用する66、68条により、学校の自己評価の実施及び公表が義務付けられている。

本校では、平成27年度に学校関係者評価委員会を立上げ、以来毎年実施を行っている。自己評価を基本とし、外部委員の意見を頂戴し、学校運営に反映を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念・目標
(2) 各学科等の教育	学校運営
(3) 教職員	学校運営
(4) キャリア教育・実践的職業教育	学修成果
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生の受け入れ募集
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ
(11) その他	社会貢献・地域貢献・法令遵守

※ (10) 及び (11) については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他 ())

URL: <https://www.mbc.ac.jp>

公表時期: 2023(令和5)年9月29日

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダルビジネス学科ブライダル専攻)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実技・実習	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ブライダル概論	婚礼の流れ、形式、挙式、披露宴などについて総合的に学ぶと共に、ブライダルサービス全般について習得する。	1通	95.2	-	○			○	○		
2	○			トータルビューティー(基礎)	ヘア、メイク、ネイル、衣裳について総合的にコーディネートする基礎を学ぶ。	1通	95.2	-			○	○			○
3	○			ネイルサービス(基礎)	ネイルサービスの基礎を習得する。	1通	95.2	-			○	○			○ ○
4	○			ブライダルプロデュース(初級)	スタンダードな披露宴の流れを習得する。	1前	47.6	-		○		○		○	
5	○			ブライダルプロデュース(中級)	オリジナルの演出を盛り込んだ挙式披露宴をプロデュースする。	1後	47.6	-		○		○		○	
6	○			フォトウェディング実習	フォトウェディングの基礎から応用まで実習形式で学びます。	12 通通	190	-			○	○			○
7	○			メイク	基礎技術を中心に実習を重ね、詳しく学ぶ。	12 通通	190	-			○	○			○
8	○			着付	基本的な着付けや帯結びからアレンジ方法などを習得する。	12 通通	95.2	-			○	○			○
9	○			パーソナルカラー	色彩の基礎知識を踏まえ色の持つ心理的作用を学び、お客様に合ったコーディネートを習得する。	12 通通	95.2	-		○		○			○
10	○			ブライダルプロデュース(上級)	結婚式プロデュースの集大成として、ブライダルフェスタの企画・立案を実施する。	2通	95.2	-		○		○		○	
11	○			フォーマルスベシャリスト検定対策	新郎・新婦を含めたフォーマルの正しい知識と、一般的なルールやマナーを基礎から習得する。	2通	47.6	-		○		○			○
12	○			認定ドレスコーディネーター検定対策	ウエディングスビューティフルジャパン主催の検定試験対策を実施する。	2通	47.6	-		○		○			○

13	○		ブライダルコーディネーター技能検定対策	公益財団法人日本ブライダル文化振興協会(BIA)主催の検定試験対策を実施する。	2通	47.6	-	○	○	○									
14		○	ブライダル司会講座	結婚式、披露宴等の司会進行について概要を学ぶ。	2通	47.6	-	○	○										
15		○	バンケット実習	キャプテン業務、アテンド業務、料理・飲物のサービス方法を実習を通して習得する。	2通	47.6	-		○	○									
16		○	ブライダルフラワーアレンジメント	ブーケやブートニア、卓上装花などブライダルシーンを彩る装花のコーディネーターを中心に習得する。	2通	47.6	-		○	○									
17		○	ブライダルサロン実習	ロールプレイング形式でウェディングプランナーの接客スキルを学びます。	2後	23.8	-		○	○									
18	○		社会人マナー	社会人としての立ち居振る舞いについて実践形式で習得する。	1通	47.6	-	○		○									
19	○		パソコン実習	パソコンの使い方、word・excelの使い方等、文書作成や操作方法から応用まで実践で習得する。	12 通通	95.2	-			○	○								
20	○		就職ガイド	履歴書の書き方、自己PR、筆記試験対策、会社訪問の仕方、面接など就職活動全般について習得する。	12 通通	95.2	-	○			○								
21	○		秘書技能検定対策	秘書技能検定対策として、職場における言葉遣い、敬語、電話対応、ビジネス文書作成などの実務を習得する。	12 通通	95.2	-		○		○								
22	○		実用英語技能検定対策	実用英語技能検定対策として、英語4技能をレベル別に習得する。	12 通通	95.2	-		○		○								
23	○		オーラルイングリッシュ	ネイティブスピーカーによる少人数制の英会話で、レベルに合わせた授業を実施する。	12 通通	95.2	-		○		○								
24	○		ホスピタリティ・コミュニケーション	心理学的コミュニケーション論を学び、接客業に不可欠なホスピタリティ精神の向上を目指す。	12 後前	47.6	-		○		○								
25	○		就職筆記対策	就職試験における、適性診断や一般常識問題などでの対策を実施する。	2前	23.8	-		○		○								
26	○		学科別海外研修旅行	海外チャペルを視察し、現地のコーディネーターから海外ウェディングの傾向や挙式までの流れについて学ぶ。	1後	105	-				○	○	○						
27	○		スポーツ大会	学生間のコミュニケーションをはかり、クラスの団結力を高めることを目的とする。	12 前前	14	-				○	○	○						

28	○		アウトドア研修	校外にて東北の良さを再確認できるイベント・研修を実施する。	12 後後	14	-			○	○	○		
29	○		就職ガイダンス	各業界の人事担当者や本校OG・OBを迎え、就職活動の貴重な体験談、アドバイスを頂く。	12 後前	9.8	-			○	○	○		
30	○		ボランティア清掃	学校、仙台駅周辺の清掃をする事によりボランティア精神を養い、モラルの在り方を再確認する。	12 後後	2.8	-			○	○	○		
31	○		学科別研修 (ブライダルフェスタ)	挙式・披露宴の企画、進行、ヘアメイク、装花、照明、音響、衣裳まで全て学生が担当するイベント。	12 後後	70	-			○	○	○		
32	○		特別講座 (メイク)	外部講師を招き、メイク技術を向上させる為の講座を実施する。	12 前前	5.6	-			○	○		○	
33	○		特別講座(ラッピング)	贈答品の包装に関する知識と技術を基本から習得する。	12 前前	5.6	-			○	○		○	
34	○		特別講座(トータルビューティー)	花嫁の和装のお支度を見学し、初歩的な写真撮影の手法について理解する。	12 前前	11.2	-			○	○		○	
35	○		特別講座(ネイリスト検定対策)	ネイリスト検定対策として、実技試験に向け技術を習得する。	12 通通	16.8	-			○	○		○	
36	○		特別講座(サービス介助士)	正しい介助技術とおもてなしの心を学ぶ。	2 前	22.4	-		△	○	○		○	○
合計					36	科目				2228.8 単位 (単位時間)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：卒業認定単位を修得かつ学年毎に総時間数の80%を履修		1 学年の学期区分	2 期
履修方法：学期毎に出席率80%以上かつ各期末試験で合格(60点以上)の認定		1 学期の授業期間	17 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地			
国際マルチビジネス専門学校		昭和51年3月31日	野口 和江	〒 980-0021 (住所) 仙台市青葉区中央4丁目8番32号 (電話) 022-222-2328			
設置者名		設置認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人東社学園		昭和38年7月15日	野口 和江	〒 980-0021 (住所) 仙台市青葉区中央4丁目8番32号 (電話) 022-222-2328			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
商業実務	商業実務専門課程	ブライダルビジネス学科 ブライダルスタイリスト専攻	平成16(2004)年度	-	平成28(2016)年度		
学科の目的	ブライダルの専門知識・スキルの習得に加え、お客様に寄り添い、支えることができる人材の育成を目指す。						
学科の特徴 (取得可能な資格、中途率等)	ブライダルコーディネーター技能検定3級、WBJ認定ウェディングプランナー、WBJ認定ドレスコーディネーター、JNAネイリスト技能検定、JNAジェルネイル技能検定、パーソナルカラーリスト検定、フォーマルスペシャリスト検定、サービス助手士等						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位数、単位いずれかに記入 2,317 単位数	238 単位数	785 単位数	1,294 単位数	単位数	単位数
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数 (生徒実員の内数) (B)	留学生割合(B/A)				
20人	3人	0人	0%				
就職等の状況	■卒業者数 (C)		1	人			
	■就職希望者数 (D)		1	人			
	■就職者数 (E)		1	人			
	■地元就職者数 (F)		0	人			
	■就職率 (E/D)		100	%			
	■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)		0	%			
	■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)		100	%			
	■進学者数			人			
	■その他						
	(令和4年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)						
■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 株式会社プラスアルファ							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: -		無		評価結果を掲載したホームページURL -		
当該学科のホームページURL	https://www.mbc.ac.jp						
企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	(A: 単位数による算定)						
	総授業時数	2,317 単位数					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	213 単位数					
	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位数					
	うち必修授業時数	213 単位数					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	213 単位数					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位数					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	- 単位数					
	(B: 単位数による算定)						
	総授業時数	単位数					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位数					
	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位数					
	うち必修授業時数	単位数					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位数					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位数					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位数					
教員の属性 (専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においての担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		6人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		16人				
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人				
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		2人				
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		3人				
	計		27人				
	上記①～⑤のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定) の数		27人				

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等と組織的な連携体制を確保し、職業教育を通じて業界に必要とされる職業人育成を目標として教育課程を編成する。知識やスキルを実務に携わる企業の方々の意見を基に科目に加え、また可能な限り既設授業の単元にも取り込みを行う。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

編成委員会は企業関係者の外部委員と本校教職員で構成され、相互意見を十分に活かし、学内編成会議で決定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	①
伊藤 彰徳	名鉄観光サービス株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
松本 陽建	株式会社丸三屋	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
板垣 佑子	Across THE Universe	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
加藤 ゆかり	株式会社留学ジャーナル	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
野口 和江	国際マルチビジネス専門学校 校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
熊谷 文志	国際マルチビジネス専門学校 副校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
三橋 英一	国際マルチビジネス専門学校 広報部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
伊五澤 和男	国際マルチビジネス専門学校 教務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
吾妻 祐子	国際マルチビジネス専門学校 教務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
畑谷 紀衣	国際マルチビジネス専門学校 総務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
千葉 雅俊	国際マルチビジネス専門学校 広報部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回（8月、9月）

(開催日時（実績）)

第1回 令和5年8月29日 14：20～15：10

第2回 令和5年9月13日 13：00～14：00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・コミュニケーション能力、社会人としての基本的な振る舞いは非常に重要。
- ・学生のうちに「知らない大人と接する」機会を持ち、その価値を知る必要がある。
- ・お金をいただき働くことの意味。
- ・基本的な「PCスキル」と「電話対応スキル」。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界において、必要な知識や技術を養うことはもちろんのこと、ゲストの要求にお応えできるよう、演習形式で授業を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業等より講師の派遣を行い、業界ニーズを反映した授業を実施し、その評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ネイルサービス(基礎)	ネイルサービスの基礎を習得する。	Salon de Lilas
ネイルサービス(応用)	ネイルサービスの応用を習得する。	Salon de Lilas
特別講座 サービス介助士	正しい介助技術とおもてなしの心を学ぶ。	公益財団法人日本ケアフィット共育機構

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針	
研修規定を基に、卒業後に就業を目標としている業界が求めるスキルや最新の動向等の知識を経て、学生への指導に活かしていくこととする。また、研修受講により実践的な技術や技能の向上をに努めている。	
(2) 研修等の実績	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： WBJウェディングスビューティフルジャパン研修会(オンライン)	連携企業等： ウェディングスビューティフル協会
期間： 2022(令和4)年8月25日(木)	対象： 教員1名
内容 コンセプトウェディングにおける業界事情、トレンド、今後の動向について受講した。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： WBJウェディングスビューティフルジャパン研修会(オンライン)	連携企業等： ウェディングスビューティフル協会
期間： 2023(令和5)年3月23日(木)	対象： 教員1名
内容 ブライダルジュエリーについて、認定試験の改定内容について受講した。	
(3) 研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： WBJウェディングスビューティフルジャパン研修会(オンライン)	連携企業等： ウェディングスビューティフル協会
期間： 2023(令和5)年8月上旬予定	対象： 教員1名
内容 ブライダル講師の為の研修会を受講予定。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： ASTONHOUSE視察	連携企業等： ディービーツアー
期間： 2023(令和5)年11月中旬予定	対象： 教員1名
内容 韓国・ソウル市の婚礼企業ASTONHOUSEの視察、並びに韓国スタイルのウェディングについて講話を受講予定。	
研修名： WBJウェディングスビューティフルジャパン研修会(オンライン)	連携企業等： ウェディングスビューティフル協会
期間： 2024(令和6)年3月中旬予定	対象： 教員1名
内容 ブライダル講師の為の研修会を受講予定。	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価の基本は自己評価である。学校自らが行った自己評価が学校関係者の方々からご理解を頂けるよう、評価の客観性を高めたい。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	学校運営
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	教育活動・教育環境
(6) 教育環境	学生支援
(7) 学生の受入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	留学生の募集と受け入れ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・価値観の多様化が進んだことで、社会が許容する考え方や行動の範囲が広がった。いかに相互理解を深め、共に働いていくか。
- ・卒業生への支援体制構築

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界団体
伊藤 彰徳	名鉄観光サービス株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
板垣 佑子	Across THE Universe	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
加藤 ゆかり	株式会社留学ジャーナル	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ、広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.mbc.ac.jp>

公表時期: 2023(令和5)年9月29日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校教育法第133条、第14条第2項において準用する第42条及び同法施行規則第189条、第190条において準用する66、68条により、学校の自己評価の実施及び公表が義務付けられている。

本校では、平成27年度に学校関係者評価委員会を立上げ、以来毎年実施を行っている。自己評価を基本とし、外部委員の意見を頂戴し、学校運営に反映を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念・目標
(2) 各学科等の教育	学校運営
(3) 教職員	学校運営
(4) キャリア教育・実践的職業教育	学修成果
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生の受け入れ募集
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ
(11) その他	社会貢献・地域貢献・法令遵守

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.mbc.ac.jp>

公表時期: 2023(令和5)年9月29日

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダルビジネス学科ブライダルスタイリスト専攻)																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実技・実習・	校内	校外	専任	兼任	
	○			ブライダル概論	婚礼の流れ、形式、挙式、披露宴などについて総合的に学ぶと共に、ブライダルサービス全般について習得する。	1通	95.2	-	○			○	○			
	○			トータルビューティ(基礎)	ヘア、メイク、ネイル、衣裳について総合的にコーディネートする基礎を学ぶ。	1通	95.2	-			○	○			○	
	○			ネイルサービス(基礎)	ネイルサービスの基礎を習得する。	1通	95.2	-			○	○			○	○
	○			ブライダルプロデュース(初級)	スタンダードな披露宴の流れを習得する。	1前	47.6	-		○		○		○		
	○			ブライダルプロデュース(中級)	オリジナルの演出を盛り込んだ挙式披露宴をプロデュースする。	1後	47.6	-		○		○		○		
	○			フォトウェディング実習	フォトウェディングの基礎から応用まで実習形式で学びます。	1,2 通通	190	-			○	○			○	
	○			メイク	基礎技術を中心に実習を重ね、詳しく学ぶ。	1,2 通通	190	-			○	○			○	
	○			着付	基本的な着付や帯結びからアレンジ方法などを習得する。	1,2 通通	95.2	-			○	○			○	
	○			パーソナルカラー	色彩の基礎知識を踏まえ色の持つ心理的作用を学び、お客様に合ったコーディネートを習得する。	1,2 通通	95.2	-		○		○			○	
	○			ブライダルプロデュース(上級)	結婚式プロデュースの集大成として、ブライダルフェスタの企画・立案を実施する。	2通	95.2	-		○		○		○		
	○			フォーマルスペシャリスト検定対策	新郎・新婦を含めたフォーマルの正しい知識と、一般的なルールやマナーを基礎から習得する。	2通	47.6	-		○		○			○	
	○			認定ドレスコーディネーター検定対策	ウエディングスビューティフルジャパン主催の検定試験対策を実施する。	2通	47.6	-		○		○			○	

28	○		就職ガイダンス	各業界の人事担当者や本校OG・OBを迎え、就職活動の貴重な体験談、アドバイスを頂く。	12 後前	9.8	-			○	○	○			
29	○		ボランティア清掃	学校、仙台駅周辺の清掃をする事によりボランティア精神を養い、モラルの在り方を再確認する。	12 後後	2.8	-			○	○	○			
30	○		学科別研修 (ブライダルフェスタ)	挙式・披露宴の企画、進行、ヘアメイク、装花、照明、音響、衣裳まで全て学生が担当するイベント。	12 後後	70	-			○	○	○			
31	○		特別講座 (メイク)	外部講師を招き、メイク技術を向上させる為の講座を実施する。	12 前前	5.6	-			○	○				○
32	○		特別講座(ラッピング)	贈答品の包装に関する知識と技術を基本から習得する。	12 前前	5.6	-			○	○				○
33	○		特別講座(トータルビューティー)	花嫁の和装のお支度を見学し、初歩的な写真撮影の手法について理解する。	12 前前	11.2	-			○	○				○
34	○		特別講座(ネイリスト検定対策)	ネイリスト検定対策として、実技試験に向け技術を習得する。	12 通通	33.6	-			○	○				○
35	○		特別講座(サービス介助士)	正しい介助技術とおもてなしの心を学ぶ。	2 前	22.4	-		△	○	○				○ ○
合計						35	科目	2317 単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：卒業認定単位を修得かつ学年毎に総時間数の80%を履修		1 学年の学期区分	2 期
履修方法：学期毎に出席率80%以上かつ各期末試験で合格(60点以上)の認定		1 学期の授業期間	17 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。